

林いさお通信

ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228
討議資料No. 54 グリーン・ツーリズム 22年2月8日



千日回峰行満行 塩沼亮潤住職

致知出版社主催の新春特別講演会が、1月30日、東京プリンスホテルで開催され、塩沼亮潤住職の講演を聞きました。

住職は、吉野・金峯山寺1300年の歴史で2人目となる大峯千日回峰行の満



講演される塩沼亮潤氏

行を果たした方です。大峯千日回峰行とは、奈良県吉野山の金峯山寺蔵王堂から大峯山と呼ばれる山上ヶ岳までの往復48キロ、高低差1300メートル以上の山道を16時間かけて1日で往復する行を千日間かけて合計48000キロを歩き続けるという修行。一度始めたらやめることはできない。万が一この行をやめる時は、神仏にお詫びして左腰に携えている短刀で自身自身の腹をかき切って自害するか、あるいは死出紐という紐を木に結びつけて首をくくって命をたたくてはならない厳しい掟があります。まさしく命懸けの修行であり、その行を成し遂げた素晴らしい方です。

★明日をひらく言葉

おくらず 不将
おうじて 忘而
むかえず 不迎
ぞうせず 不蔵

右の言葉は、「過ぎ去ったことをくよくよしない、これから起こりうることに思い悩まない、そのときに応じて懸命に務める、今日一日を大切に生きて、恨みや憎しみといった感情を心に蔵いこんでおかない。」という意味です。

塩沼住職が、20歳の成人式にお師匠さんからいただいた言葉。日々修行を繰り返す中で、懺悔して反省という方向に心が動いた時に、迷いや苦しみは、結局自分の心がつくっていたと気づいたそうです。それから「真に生きる」という道を少しずつ歩き始めることができたという。日々、自らへの懺悔が大切ですね・・・。

グリーン・ツーリズム「グリーン・ツーリズム」推進フォーラム

グリーン・ツーリズム推進フォーラム2010が、2月5日与野本町で開催されました。講演会とパネル・ディスカッションが行われ、埼玉型のグリーン・ツーリズムの新たな可能性について話し合われました。



フォーラムでのパネルディスカッション

とは、緑豊かな農山村で、自然の心地よさや人々のあたたかさを感じながら、余暇をのんびりすごすことをいいます。主催者の埼玉県グリーン・ツーリズム推進協議会は、2008年10月に設立されました。市町村、民間企業、観光業界、NPO、農業者、JA等の各主体を網羅的にネットワークする県内唯一の中核的、横断的な団体です。現在、日本は経済や環境、食の安全や自給率など多くの課題を抱え、世の中全体が閉塞感に覆われ経済活動全般が収縮しています。協議会は、それらを打開して地域の活性化のために様々な事業を検討しています。昨年10月、埼玉県は、JTB首都圏と委託契約を結んで、県内70市町村を網羅する体験型の旅行商品を開発し販売が始まりました。県内の観光資源を発掘し、首都圏を中心に観光客を呼び込むことが目的です。三芳町は三富新田の「雑木林の落ち葉掃き体験」が商品化されました。2月21日(日)日帰りで雑木林の落ち葉掃きが行われます。参加者には、「けんちん汁」、焼き芋、どんぐりストラップづくりなどの特典があります。(問い合わせは、JTB首都圏048-642-8650)